

公益財団法人立石科学技術振興財団

2023 年度 事業報告

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

1. 事業の概要

【助成事業】

- (1)当年度は、4月18日から研究助成(S)(A)(B)(C)および、前期国際交流助成の助成金の交付を開始しました。
- (2)5月17日に、2023年度助成金贈呈式をオムロン株式会社 みやこホールにて開催しました。会場には、各助成プログラムの代表者に参加いただき、他の助成金受領者にはウェビナー形式で参加していただきました。贈呈式では、一人ひとりの研究課題を紹介し共有を図ることができました。
- (3)後期国際交流助成、国際会議開催助成は、例年どおり4月から6月まで間に募集を行ない、7月から8月にかけて選考し、9月の理事会にて選考結果を承認しました。それを受けて9月からこれらの助成金の交付を開始しました。
- (4)次年度の助成に向けて、8月から9月に研究助成(S)、9月から10月に研究助成(A)(B)(C)、10月から12月に前期国際交流助成の募集を行ないました。
- (5)10月から1月にかけて次年度の研究助成、前期国際交流助成を選考し、2月の理事会でその結果が承認されました。
- (6)当年度に支出した助成・顕彰金は以下のとおりです。

()内は、内定件数、内定金額です。

研究助成(A)	35件	小計	98,896千円	(35件	101,237千円)
研究助成(B)	1件	小計	5,555千円	(1件	6,250千円)
研究助成(C)	11件	小計	14,308千円	(11件	14,455千円)
研究助成(S)	2件	小計	59,899千円	(2件	59,899千円)
国際交流助成	通期15件	小計	8,337千円	(16件	9,824千円)
国際会議等開催助成	10件	小計	10,000千円	(10件	10,000千円)
		合計	196,995千円	201,665千円	
		差異	▲4,670千円		

【研究成果普及事業】

- (1)10月に、前年度の助成研究成果を中心に編集した助成研究成果集【第32号】を発行しました。助成を行った研究の成果に加え、研究機関別の助成件数推移や過去の採択率など、研究者や外部資金を担当する機関に関心を持っていただける当財団のデータを加えました。助成研究成果集は、過去の助成金受領者、全国の大学・大学院、附属図書館、研究機関、および国公立図書館などに計1,421部送付しました。
- (2)10月に、当財団として初めての取り組みとなる研究助成成果発表会を、ホテルグランヴィア京都にて開催しました。2018年度～2020年度に研究助成(S)を受領した5名の方に、研究成果をプレゼンテーションしていただき、会場参加の研究者とディスカッションを行いました。また、2022年度中に研究期間を終了した研究助成(A)(B)の助成金受領者のみなさまには、ポスターによる研究成果の発表を行い、研究成果の共有と交流を図ることが出来ました。

公益財団法人立石科学技術振興財団

2. 収支の部

- (1) 収入は、予算額 271,166 千円に対して、実績は 278,574 千円（予算比 102.7%）となりました。うち 12,000 千円を事業積立資産として積立を行い、決算額は 266,574 千円となりました。

主な収入として、オムロン株式会社株式の配当 265,125 千円、特定資産運用益 12,921 千円、オムロン株式会社およびオムロン関連会社計 5 社からの寄付 500 千円を受け入れました。

- (2) 支出は、経常費用予算額 271,424 千円に対し決算額は 264,220 千円（予算比 97.3%）となりました。うち、事業費は予算額 259,901 千円に対し決算額が 253,728 千円（予算比 97.6%）となりました。事業運営費は予算額 32,210 千円に対し決算額が 31,118 千円（予算比 96.6%）となりました。一方、管理費は予算額 11,523 千円に対して決算額が 10,492 千円（予算比 91.1%）となりました。事業運営、および成果普及事業（研究助成成果発表会、成果集発行ほか）の効果的運用に努めたことから予算額を下回る決算額となりました。

3. 投資活動の部

基本財産であるオムロン株式会社株式の配当は、年間 98 円と見込んでいましたが、下期から 3 円増加し年間を通じて年間 101 円（上期 49 円 下期 52 円）となりました。これにより配当収入は 7,875 千円の増加となりました。また、事業運営資産 11 億円の運用益は 12,901 千円（予算比 99.9%）となりました。

4. 事業積立資産

交付者の定めた用途に充てるために保有している資金（6 号財産）は期首資産額 211,000 千円であったものを、期中に取り崩し（減少）と積立（増加）を行い期末の資産額は 223,000 千円となりました。

以上の結果、期末資産は以下ようになりました。

流動資産	3,548 千円
基本財産（オムロン株式会社株式）	14,203,875 千円
（262 万 5 千株、1 株 5,411 円（3 月 29 日終値）で計算）	
特定資産（事業運営資産） 有価証券	1,100,000 千円
特定資産（事業積立資産） 預貯金	223,000 千円
その他固定資産	<u>4,312 千円</u>
合計	15,534,735 千円